

# 愛知学院大学歯学部倫理委員会

## 平成 28 年度第 6 回会議 次第

平成 29 年 3 月 9 日（木）15：00～

### I. 報 告

1. 平成 28 年度第 5 回倫理委員会議事録（案）（平成 29 年 1 月 26 日）
2. 持ち回り審査結果について（事前送付資料）
3. 委員長決裁について（報告）
4. その他

### II. 協 議

1. 申請書類審議（事前送付資料参照）
2. 申請者との 審議・面談
3. 判定結果の決定
4. 倫理審査申請者の倫理委員会等が主催する講演会などへの出席義務  
化について 【資料 1】
5. 平成 29 年度歯学部倫理委員会開催日（案）について 【資料 2】
5. その他

平成28年度愛知学院大学歯学部倫理委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	戸 莉 彰 史	薬理学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
○	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
◎	千田 彰	保存修復学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	武部 純	有床義歯学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	原田 純	麻酔学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	松原 達昭	内科学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	高木 敬一	愛知学院大学法学部教授	規程第4条(3)学識経験者	28.4.1-30.3.31
	黒神 聰	元愛知学院大学法学部教授	〃	28.4.1-30.3.31
	柿田 憲広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)一般人	28.4.1-30.3.31
	鏡山 典子	愛知教育大学教育・研究支援部 学生支援課 嘱託職員	〃	28.4.1-30.3.31

平成28年度 第6回歯学部倫理委員会  
インターネット公表一覧

1	実施責任者	有地 栄一郎
	研究課題	上顎洞陥凹の原因と画像所見に及ぼす影響
	概要	上顎洞根治術後、上顎洞は狭小化し骨に置換されて治癒することは周知の事実であるが、その理由ははっきりと分かっていない。上顎洞根治術後患者のパノラマエックス線写真では、パノラマ無名線の不透過性が強調され、無名線より内側上方に延長する不透過線が観察される。そのため、この所見が術後か否かの鑑別に使用されている。しかし、我々は上顎洞根治術の既往のない患者においてもしばしば同様の所見が観察されることを発見し、上顎洞の形態(特に前壁の陥凹)との関連があるのではないかと推察した。そこで、この内側上方へ延長する不透過線のある患者とない患者でグループに分け、CT上で上顎洞形態を比較することでその原因を探る。また、以前の研究において上顎洞内腔の容積は加齢により減少する傾向にあることが証明されている。我々はこの原因が上顎洞の陥凹にあるのではないかと考え、如何なる要因が引き起したものであるか、経時的なCT画像所見変化を追って考察する。
2	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
3	実施責任者	名和 弘幸
	研究課題	特別支援学校教職員からみた児童の食べ方の調査
	概要	公表不可
4	実施責任者	名和 弘幸
	研究課題	障害者通所施設に勤務する職員の歯科保健業務と研修の実態
	概要	公表不可